

森林

# レンジャー がゆく

(11)

身近な自然に  
目をむけよう

森の子

「レンジャー」

始動!!

皆さん、ご存知でしょうか？

森の子「レンジャー」が5月から、いよいよ始動します。すでにレンジャーの応募は締め切っていますが、自然が好きで森林レンジャーと一緒に活動したいという子どもたちがたくさん応募してくれたことに、私のやる気もみなぎ

っています。

さて、レンジャーの活動は、あきる野の自然を体験し、森や動植物のことを学びながら実際に森づくりを行っていきます。このレンジャーというネーミングは皆さんのご想像のとおり、子どものレンジャーという意味ですが、もう一つ大切な意味合いが含まれています。それは何かというと、レンジャーはローマ字で「CORANGER」と表し、COとはcooperation(コオペレーション)からとっています。Cooperationには、協力、協同、協調というような意味があり、レンジャーは森林レンジャーや地域の方、そして自然や仲間たちと協力して森

づくりを行うという想いを込めた愛称なのです。

そして、レンジャーの活動で私たち森林レンジャーが目指すのは、「あきる野の自然と文化を守り引き継いでいく自然愛や郷土愛を持った人材が育つ」ことです。そのためには、身近な自然の中にひそむ魅力や不思議なことに興味を持ち、再発見し、自然をより深く理解することが大切だと考えています。四季を通じて自然や動植物と人とのかわりを考え、子どもたちにも色々教えてもらいながら共に学び作っていく1年にしたいと思います。

最後に、森林レンジャーは市民の皆さんとの協働で森づくりを行っていますので、あきる野の自然を守り引き継いでいくレンジャーに、こんな体験をさせたらどうか！こんなことも知ってほしい！という提案がありましたら、ぜひ、環境の森推進室までご連絡ください。

加瀬澤 恭子

